

# 委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、11月22日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

## 文教・建設常任委員会

### 空き家の利活用を進める取り組みを实践

【栃木県栃木市】

栃木市では、増加傾向にある空き家対策に、2人の担当者が常に現場に出て取り組んでいました。特に空き家バンク制度に力を入れており、市と宅建協会が積極的に協力連携することで、登録物件の6割以上が成約するなど、効果を上げていました。

【検証の結果】

栃木市は、市が関わり、市民に安心感を与える、実効性を高めた取り組みを实践しており、参考になりました。



▲ 10月11日 栃木市役所にて

## 市民生活常任委員会

### 多様な連携を生かした消費者教育を推進

【岐阜県大垣市・岐阜県岐阜市】

大垣市では、平成29年度に高齢者団体・事業者・行政で構成される「大垣市消費者見守り会議」を設置しています。協議会では情報共有や、消費者安全対策について協議しているほか、特殊詐欺対策として、迷惑電話防止機器無料モニター事業を実施していました。

岐阜市では、平成27年度に消費者教育推進計画を策定しています。計画に基づき、小中学生向けの教材を教育委員会などと連携して作成したほか、大学との連携や教職員研修会など、多様な連携を生かした消費者教育を推進していました。

【検証の結果】

大垣市は、設置から数年経過した協議会の活動内容に苦慮していたこと、岐阜市は、連携を生かした、計画的な消費者教育が参考になりました。



▲ 10月8日 岐阜市役所にて

## 健康福祉常任委員会

### 市民が活用しやすいネウボラ拠点の構築を検討

【埼玉県和光市・東京都渋谷区】

和光市では、市内5カ所に子育て世代包括支援センターを設置し、日常生活圏内で気軽に相談ができ、多制度多職種のチームケアによる一体的な支援を提供し、家庭や子育てに関する問題の解決を図っていました。

渋谷区では、妊婦全数面談の予約、育児学級や予防接種案内などの情報発信、保健師との情報共有が可能な電子母子健康手帳機能等を、LINEアプリと連携させたり、渋谷区独自の育児パッケージを支給したりと、工夫を凝らした産前産後の支援が充実していました。

【検証の結果】

和光市は、市民が親しみやすく活用しやすいネウボラ拠点の構築について、渋谷区は、子育て世代に受け入れられやすいSNSを活用したサービスなどが参考になりました。



10月28日 渋谷区第二美竹分庁舎にて▶

## 議会運営委員会

### タブレット端末の幅広い活用を推進

【新潟県上越市・富山県南砺市<sup>なんと</sup>】

上越市では、議会活動を可視化する手段の一つとしてタブレット端末を導入しており、その取り組みを推進するため、希望した議員が自由に参加できる講習会を開催し、習熟度の向上に取り組んでいました。

南砺市では、情報を示した市民説明、議員活動の活性化、用紙・印刷に係る業務およびコストの削減などを目的にタブレット端末を導入しており、アプリを使用した議員と議会事務局との連絡、スケジュール管理など、情報の携帯・共有と伝達の迅速化などに幅広く活用していました。

【検証の結果】

上越市のタブレット操作の課題を解決する講習会を開催して、利用を推進する取り組み、南砺市のタブレット端末を幅広く活用する取り組みは、参考になりました。



▲ 10月2日 上越市役所にて